

授業科目 視覚機能学演習 II

【担当教員名】 前田 史篤 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 主訴と検査を結びつけることで視能学への理解を深めることを目的とする。視能障害を疑う主訴から検査プログラムを立案し、実際にデータを得て、いくつかの検査データから総合的に診断へと導くまでの過程について実践を通して習得する。課題はケースレポートとして報告し、主要な眼疾患について必要とされる検査・訓練を想定した学習を行う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. POS と POMR が理解できる 2. 主訴から必要な検査を計画できる 3. 提示されたデータを正しく読み取ることができる 4. 与えられた課題をケースレポートにまとめることができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス．レポートのまとめ方			1	講義：前田史篤
2	加齢白内障			1-4	演習：前田史篤ほか
3	正常眼圧緑内障			1-4	演習：前田史篤ほか
4	糖尿病網膜症			1-4	演習：前田史篤ほか
5	網膜色素変性			1-4	演習：前田史篤ほか
6	加齢黄斑変性			1-4	演習：前田史篤ほか
7	中心性漿液性脈絡網膜症			1-4	演習：前田史篤ほか
8	重症筋無力症			1-4	演習：前田史篤ほか
9	眼窩吹き抜け骨折			1-4	演習：前田史篤ほか
10	甲状腺眼症			1-4	演習：前田史篤ほか
11	間欠性外斜視			1-4	演習：前田史篤ほか
12	斜視弱視			1-4	演習：前田史篤ほか
13	部分調節性内斜視			1-4	演習：前田史篤ほか
14	先天滑車神経麻痺			1-4	演習：前田史篤ほか
15	動眼神経麻痺			1-4	演習：前田史篤ほか
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011・18,000 円＋税
参考書		イラスト眼科	渡邊郁緒、新美勝彦	文光堂	2003・5,500 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 定期試験、提出物、授業参加状況などから総合的に評価する。			【履修上の留意点】 再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。		